

スポーツ推進についてのアンケート 子どもの運動やスポーツについてのアンケート

調査結果の概要

1 調査方法と回収状況

市民アンケート	○18歳以上の市民 3,500人（無作為抽出） ○郵送にて調査票を配布、回答は調査票への記入・返送、アンケート回答フォームによる回答を併用 ○令和3年(2021年)12月1日から12月17日(翌年1月14日まで延長) ○有効回答数：1,026件 有効回答率：29.3%
子どもアンケート	○豊中市立の小学校・中学校に通う小学2年生、小学5年生、中学2年生の子ども約11,000人 ○調査依頼文(チラシ)を学校を通じて配布、アンケート回答フォームによる回答 ○令和4年(2022年)1月17日から1月31日(2月14日まで延長) ○有効回答数：720件

2 市民アンケートの主な調査結果

《運動不足感》

- 自分が運動不足と認識している人は79.2%で、全国調査と同様の状況となっており、運動習慣のある人でも68.0%が運動不足と答えています。

《運動やスポーツの実施状況》

- 週1日以上、運動やスポーツを行っている人の割合は55.4%で、前回調査の36.9%から大幅に増加しましたが、国や民間機関が実施した近年の調査結果と比べると少なく、特に30歳代の落ち込みが目立つ結果となっています。

- これまでにやったことがある+今後やってみたい運動やスポーツ

1位	散歩・ウォーキング	75.7%
2位	体操	46.1%
3位	筋力トレーニング	37.3%
4位	登山・ハイキング・トレイルランニング	33.3%
5位	自転車・サイクリング・BMX	31.2%
6位	エアロビクス・ヨガ・ピラティス	26.8%
7位	キャンプ・野外活動・海水浴	25.2%
8位	ランニング・ジョギング	24.2%
9位	軽い球技	23.2%
10位	水泳・水中運動	22.2%

- 運動やスポーツを行っている理由は、健康・体力づくりや体力の保持・増進のため、運動不足を感じるから、楽しみや気晴らしとしてという人が多く見られます。
- 運動やスポーツを始めたきっかけは、過去に経験したことがあるから、時間に余裕ができた、家族や友人・近所の人に誘われたという人が多く見られます。
- 運動やスポーツを行う時に利用している施設や場所は、自宅周辺の道路や散策路、公園・広場など屋外で行う人が前回調査より増え、スポーツ施設をあげる人が少なくなっています。
- 運動やスポーツを一緒に行う人について尋ねたところ、自分ひとりでやっている人が68.6%となっています。
- 今後の運動やスポーツに対する考え方として、現在は運動やスポーツを行っていないが、今後行いたいと思う人が最も多く、特に現在運動習慣のない人では59.8%を占めています。

《運動やスポーツを行う環境の変化と課題》

- 運動やスポーツを行う環境の変化について尋ねたところ、この1年間に運動やスポーツを行った人のうち60.1%が何らかの環境変化があったと答えています。
- 運動やスポーツを行う頻度の変化について尋ねたところ、1年前と比べて変わらない人が42.8%、減ったが29.7%、増えたが18.1%となっており、いずれの場合も新型コロナウイルス感染症の感染拡大により日常生活が変化したからと答える人が多く見られます。
- 運動やスポーツを行う際に問題となっていることとして、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により運動やスポーツが行いにくい、時間的な余裕が確保しにくい、施設や場所が近くにないといった問題があげられています。

《スポーツの観戦状況》

- この1年間にスポーツを観戦した人は81.3%で、テレビやラジオ、インターネット等で観戦した人が78.6%、直接会場へ出向いて観戦した人が8.5%となっています。

《運動やスポーツに関する支援活動》

- 運動やスポーツに関する支援活動の実施状況を尋ねたところ、何らかの支援活動を行った人は6.5%となっていますが、民間機関が実施した調査結果と比べると若干多めとなっています。
- 運動やスポーツに関する支援活動に参加したいと思う条件について尋ねたところ、時間的な余裕がある、活動場所が近い、費用がかからない、一緒に行う仲間がいる、参加したい活動があるなどとなっています。

《スポーツ推進行政で充実すべき取組み》

- 今後のスポーツ推進のために市の役割として充実すべき取組みを尋ねたところ、年齢や体力に応じたスポーツの指導をあげる人が最も多く、これに次いで健康増進・体力づくりに重点をおいたスポーツ教室、スポーツ施設の整備・充実、初心者向け・スポーツの苦手な人向けの教室などが上位にあげられています。

3 子どもアンケートの主な調査結果

《運動やスポーツの実施状況》

- 週1日以上、運動やスポーツを行っている人の割合は85.7%となっています。

1位	鬼ごっこなどの外遊び	78.6%
2位	水泳	64.4%
3位	散歩・ウォーキング・ジョギング	60.8%
4位	ストレッチなどの体操・筋力トレーニング	52.9%
5位	自転車・サイクリング・BMX	50.0%
6位	ドッジボール	42.5%
7位	スキー・スノーボード	33.2%
8位	バドミントン	32.2%
9位	サッカー・フットサル	27.9%
10位	ハイキング・登山	27.4%

- 運動やスポーツについて感じていることを尋ねたところ、楽しい、一緒にできる友だちがいる、体を動かすので気持ちがいい、あきらめずに練習すればできる、上手にできる・得意など、好意的に捉える人が多くを占めています。
- 運動やスポーツを行う環境の変化について尋ねたところ、この1年間に運動やスポーツを行った人のうち71.3%が何らかの環境変化があったと答えており、屋外で行うことが多くなった、緊急事態宣言などにより行うことを控えていたという人が20%前後となっています。

《子どもの運動やスポーツについて》

- 子どもの運動やスポーツを促進するために望ましい条件や環境として、子ども自身がやってみたい続けてみたいと思える内容、子どもたちだけでも通いやすい場所、安全に運動やスポーツが行える場所、子どものやる気や能力を引き出す指導者や見守りをするお世話役などをあげる人が多く見られます。